

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル2 PRA 分科会
第36回レベル2PRA 分科会

日時：2020年7月30日（木）13:30～17:30

場所：Webex 会議

出席者：

委員：阿部（主査）、成宮（副主査）、濱崎（幹事）、山越（幹事）、千年（幹事）、中村（康）、宇井、楠木、橋本、佐々木、小谷、松山、村松、渡邊、白石、美原
17名出席

（欠席）廣内（幹事）、小野田、石川、原口、中村（真）

常時参加者：太田（芦谷代理）、諏訪、細川（長江代理）、藤崎 4名出席
（欠席）小城、友澤、西村、片上、三浦（拓）

講師：三浦（弘） 1名出席

議事：（発言者敬称略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議題1 前回議事録の確認

<要旨>

千年幹事より、資料 P10SC36-1 に基づき、前回議事録要旨（案）の概要版について説明があった。幹事の人事は報告事項であること、幹事の指名は当日に行われたこと、委員の肩書が未反映であることが指摘され、これらを反映することとなった。

議題2 人事案件

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-2 に基づき、人事について説明があり、常時参加者の登録が承認された。

- ・常時参加者の登録：芦谷 竜門（九州電力株式会社）

議題3 （講演）マルチハザード PRA の基本的な考え方について

<要旨>

三浦（弘）氏より、資料 P10SC36-3 に基づき、電中研で行われている地震重畳津波を中心としたマルチハザード PRA の研究状況について講演があった。

議題4 津波レベル2PRA に関する文献調査

(1) 津波レベル2 PRA 標準に関する文献調査の概要

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-4-1 に基づき、津波レベル2PRA に関する文献調査の概要が報告された。文献調査の主な結果として、以下の知見が得られた。

- ・我が国の津波 PRA 研究、米国 INEL のマルチハザード解析研究等の知見
- ・ASME/ANS RA-Sb-2013 の外部洪水 PRA に対する要件
- ・ASAMPSA_E の外部洪水 PRA に対するガイドの調査結果
- ・福島第一原子力発電所事故調査報告書の調査結果

(2) 福島事故報告書の調査結果

<要旨>

山越幹事より、資料 P10SC36-4-2 に基づき、福島事故報告書の調査結果が報告された。各種報告書の概要と津波レベル 2PRA 標準の反映の必要性、反映先について説明があった。

(3) 津波レベル 2 PRA 文献調査結果

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-4-3 に基づき、主に、Idaho National Laboratory の「Multi-Hazard Advanced Seismic Probabilistic Risk Assessment Tools and Applications」の調査結果が報告された。

議題 5 レベル 2PRA 標準の津波拡張文案

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 1 から箇条 4 の津波拡張文案が報告された。外部洪水を検討対象から除外する理由について、その理由と共に解説に記載する方向で検討することとなった。

小谷委員より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 27 から箇条 29 の津波拡張文案が報告された。LERF/LRF に対する要求については、附属書もしくは解説書を作成する必要があるとの意見があり、作成を検討することとなった。

濱崎幹事より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 30 の津波拡張文案が報告された。LERF/LRF に対する要求を記載する場合には、構成を大胆に見直す必要があるのではないかとの意見があり、対応を検討することとなった。

楠木委員より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 31 の津波拡張文案が報告された。

白石委員より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 32 から箇条 33 の津波拡張文案が報告された。

山越幹事より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 34 から箇条 36 の津波拡張文案が報告された。放出カテゴリーの分類において、LERF/LRF による分類が必要なのではないかとの意見があり、対応を検討することとなった。

濱崎幹事より、資料 P10SC36-5-1 に基づき、レベル 2PRA 標準の箇条 37 の津波拡張文案が報告された。

以上の津波拡張文案について、その他気づき事項があれば、メール等で連絡することとなった。

議題6 レベル2PRA 標準改定の間接報告について

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-6 に基づき、レベル 2PRA 標準の津波拡張と LERF／LRF 評価規定化について、リスク専門部会と標準委員会への中間報告資料案が説明された。標準改定の原案の説明を目的として、リスク専門部会と標準委員会へ説明することが確認された。

議題7 レベル2 標準（地震拡張）の修正について

<要旨>

中村（康）委員より、資料 P10SC36-7 に基づき、レベル 2PRA 標準の転載許諾の状況について説明があった。特に意見はなく、承認された。

議題8 今後の進め方

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC36-8 に基づき、レベル 2PRA 分科会の今後のスケジュールが報告された。レベル 2PRA 標準 2020（地震拡張）については、今後、タスクフォース（8/20）、リスク専門部会（8/28）、標準委員会（9/9）で報告を予定。レベル 2PRA 標準（津波拡張）については、リスク専門部会（8/28）、標準委員会（9/9）で中間報告を予定。

次回レベル 2 PRA 分科会は 10 月 13 日に Web 会議もしくは通常会議で開催する予定。

以上